



令和3年度

# 学校が元気に！地域が元気に！

コミュニティ・スクールだより No.2

かほく市立高松中学校  
校長 漢野 有美子  
学校 CN 藤本 深帆  
コーディネーター

## 3年生 SDGs を学ぶ「人と社会：環境を考える」

5月18日（火）、JICA 北陸の八田裕司さんを講師にお招きし、**SDGs を学ぶ「人と社会：環境を考える」**講話を実施しました。八田さんは、2019 年4月から1年間、中央アメリカ中部に位置するホンジュラス国オロポリ市役所に環境教育隊員として派遣され、市内の小中学校を巡回し、子どもと住民に対する環境意識の向上に努められました。環境問題の中でもオロポリ市で特に問題視されていた不法投棄の防止や水源林の保全等に重点を当て、学校の授業に取り入れたり市議会でのワークショップを行ったり、様々な活動に取り組まれたそうです。

講話では、青年海外協力隊を志したきっかけ、派遣されたホンジュラス国の現地の様子、人々の生活、ホンジュラスと日本との違い、現地の学校制度、実際に住んでみて感じたことや大変だったことなど、たくさんの写真を使って紹介してくれました。また、SDGs についてもとてもわかりやすく説明してくださり、ホンジュラスという国を初めて聞いたという生徒がほとんどでしたが、八田さんの話に真剣に耳を傾けていました。

-----生徒の感想-----

「SDGs の現在の状況はどのようになっているのかを調べたい」

「2030 年までに17の目標はどこまで達成できるのかが知りたい」

「もっと世界に目を向けたいと思った」

「SDGs の取組は、自分の身近なところ、学校生活や自分の地域から取り組みたい」

「SDGs は17のそれぞれの目標があるので、自分の興味のある項目をもっと詳しく調べたい」

「2週間のボランティアをするならどうする？という質問に、釣った魚をあげるのではなく、釣り方を教え、自分で生活していけるように支援するのが青年海外協力隊の活動という話がとても印象に残った」

「八田さんのように、誰かのために役に立つ仕事をしたいと思った」

「学校で取り組んでいる給食残食ゼロや海岸清掃も世界につながる SDGs の取組だとわかった」

生徒達は、八田さんのお話を聞き、それぞれが自分のこととして考え、今後の学習につながるよい時間となりました。八田さん、お忙しいところ貴重なお話をありがとうございました。



## 古タオルリメイクプロジェクト始動

高松中学校“ジュニアボランティアサークル絆”が、6月7日（月）～11日（金）の期間、古タオルリメイクプロジェクトとして、古タオルの回収を実施します。このプロジェクトは、“デイサービス暖”の利用者さんが、古タオルをぞうきんに作り変え、かほく市内の6小学校に600枚のぞうきんをプレゼントする取組です。

**大海小学校、高松小学校でも、古タオルの回収に協力していただきます。**

ぜひ古タオルの回収にご協力よろしくお願いいたします。



絆のリーダーが高松小学校を訪問しました。

